

よりあいコミュニティソーシャルワークス

第4期 事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日)

運営全体について

WAM（福祉医療機構）助成採択に伴い、年間通して充実した事業運営を行うことができた。また事業継続によって認知度も徐々に高まり、CCSW研修会においては、毎年後援をいただいている東北学院大学地域連携課に加え、福島県社会福祉協議会、郡山市、郡山市社会福祉協議会からの後援もいただくことができた。また受益者の幅も広がり、遠方からのオンライン受講や、外部団体を会場にしてのオープンカリキュラム開催、またよりあい会議でも新規参加者の増加など、新しい展開も見られた。さらに修了生をスタッフに迎えて活動していただく機会や、HPやパンフレット、事業報告書の作成など、アウトプットも多く行うことができた。

地域福祉の担い手の連携促進をはかる活動

昨年3月16日福島県沖地震で中止になった回の振替として5月の初回をスタート。その後の内容が一連の流れとなり、支援の現場で参加者が直面している課題が自ずと明確になり、それに沿う形でテーマを掘り下げていった。その流れで今年度新規事業の計画へとつなげてゆくことができた。また新たな参加者・団体も加わり、毎回平均13名前後が参加している。

テーマ詳細については、2022年度事業報告書P14-15を参照。

全6回開催。のべ参加人数77人。団体(個人含む)ユニーク数16件

開催日時	場所	参加人数	団体・個人
5月19日	ミューカルがくと館	14名	7団体
7月21日	ミューカルがくと館	15名	8団体
9月15日	ミューカルがくと館	13名	8団体
11月17日	ミューカルがくと館	11名	7団体
1月19日	ミューカルがくと館	12名	7団体
3月16日	ミューカルがくと館	12名	7団体

地域福祉の担い手の支援力向上をはかる活動

前期に引き続き、4期目となる「市民コミュニティソーシャルワークカー研修 in 福島」を実施した。今年度はZOOMによる遠方からの受講生もあり、地域の拡大が見られた。

カリキュラムは実践研修 10 課、座学研修 20 課、さらに 12 月-1 月はオープンカリキュラムとして障がい就労支援事業所を会場とし、利用者、スタッフの皆さんにも受講いただいた。また単発受講により新たな受講者層にも届き、受講生にとっても大きな学びの気づきにつながった。また 2 月には修了生有志で宮城・岩手の津波被災地と災害公営住宅視察のフィールドワークを行い、県外のケースを知ることで県内の課題との比較検討を行うことができ、各々の業務に活かせる学びを持ち帰ることができた。

受講生総数 21 名 うち本科 8 名 聴講 2 名 オンデマンド聴講 2 名 単発受講者 9 名
修了書発行 4 名 (全科目 8 割以上受講認定) 受講証発行 4 名

カリキュラム詳細及び受講生アンケート、修了小論文抜粋は事業報告書 P6-11, 視察については P18- 23 を参照。

その他活動

- ・地域力強化活動として、事業報告書 P16-17 を参照
- ・今年度事業振り返り評価として、事業報告書 P24-25 を参照